

第5学年2組 国語科学習指導案

平成25年11月15日(金) 6校時

場 所 5学年2組教室

指導者 教諭 太宰 明

1. 単元名 古文に親しもう

2. 単元目標

- ◎古文とその解説文を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知る。
- 作者の心情や場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめる。

3. 指導計画

単元名 古文に親しもう (全3時間扱い 本時1/3)

| 時 | 主な学習活動 | 指導上の留意点 | 評価 |
|-----------|---|---|--|
| 1 (本時) | <ul style="list-style-type: none"> ○本時のねらいを確かめ、「枕草子」について知る。 ○「枕草子(春はあけぼの)」の原文を音読する。 ○書かれている内容について予想し、確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「枕草子」についてのガイドンス映像を視聴させる。 ・音読を繰り返すことで古文特有のリズムや言い回しに慣れ、現代文との共通点と相違点について考えさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・昔の人のものの見方や感じ方に関心を持って古文を読もうとしている(観察) ・今の言葉と昔の言葉の違いを意識して、情景や作者の心情を思い浮かべながら古文を音読している。 <p style="text-align: right;">(机間指導・観察・ワークシート)</p> |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ○「枕草子(九月つごもり・ふるものは)」の原文を音読する。 ○書かれている内容について予想し、確認する。 ○清少納言と現代の自分たちのものの見方や感じ方を比べてみる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・清少納言が風に散る落ち葉を見てどのように感じていたかを話し合い、自分だったら秋の紅葉や落ち葉について堂思いかを考えさせる。 ・清少納言の「ふるもの」に対する細やかな見方や自然の美しさについての考え方について話し合い、自分だったら「ふるもの」だったらどんなものをよいと感じ、それはなぜかを考えさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・清少納言のものの見方や感じ方と、現代の自分たちのものの見方や感じ方を比べようとしている。(観察・発言) ・清少納言のものの見方や感じ方をとらえ、その表現の巧みさに気づいている。 <p style="text-align: right;">(発言・ワークシート)</p> |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ○「枕草子」や教科書の例を読んで随筆の書き方を知り、季節の風物詩を取り上げた簡単な随筆を書く。 ○友達と交換して読み合い、間奏を交流する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習を想起させ、随筆について書き方を確認させる。 ・アイデアが思いつかない児童には、「好きな季節」「その季節で好きなもの」「なぜ好きなのか」等を問い、それをもとに書 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分のものの見方や感じ方を表す文章を書いて友達と読み合い、考えを深めている。 <p style="text-align: right;">(作品・発表)</p> |

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | くよう助言する。 ・友達のものの見方や感じ方のよさを中心に感想を話し合わせる。 | |
|--|--|--|--|

4. 本時の指導（1／3）

（1）本時のねらい

今の言葉と昔の言葉の違いを意識し、古文を音読して内容の大体をつかむことができる。

（2）指導にあたって

児童はこれまで、慣用句・ことわざ・百人一首等について学習したり、日常的に触れたりすることで、様々な音読のリズムや響きを感じ取り、昔の人の知恵について知るなどしてきた。また、7月には「古文を声に出して読んでみよう」の学習で、有名な古文（「竹取物語」「徒然草」「平家物語」）の冒頭を聞いたり音読したりすることで古文に親しむ活動も経験した。

これらを踏まえ、本教材では「枕草子」のいくつかの章段の内容の大体を知り、作者の考え方や感性に触れることで、昔の人のもの見方や感じ方に関心を持ち、現代の自分たちとの共通点や相違点について思いをめぐらせることができるようにしたい。さらに、その表現の巧みさに気付き、それを参考に自分のもの見方や感じ方を表す文章を書き、友達とそれを読み合い、考えを深めることができるようにしたいと考える。

ICT活用としては、デジタル教科書「My教科書エディタ」を使用したい。デジタル教科書には様々なコンテンツや資料・機能が搭載されている。「枕草子」のガイダンス映像を視聴させることで、清少納言と枕草子の大要を捉えさせたり、当時の人々の生活の様子を想像させたりする。朗読音声聞かせることで古文の響きやリズムに親しませること等に役立てたい。また、映像をテレビ画面に大きく表示することで、清少納言が叙述した情景をより鮮明な形で児童にイメージさせたい。

（3）指導過程

| 段階 | 主な学習活動 | 指導上の留意点 | 評価 |
|----|---|---|---------------------|
| | | ※太字の部分は、ICT (My教科書エディタ)活用場面 | |
| 導入 | ①「枕草子」の原文（春はあけぼの～）を提示し、どのように読むか考え、発表する。 ②本時のねらいを確かめ、「枕草子」「清少納言」について知る。 | ①古文独特の文章に興味を持たせるため、原文を自力で読ませる。 ①ワークシート配付 ②本時のねらいを確かめてから、「枕草子」のガイダンス映像を流す。 ②「枕草子」と「清少納言」について、簡単に説明する。 | |
| 展開 | ③「枕草子」原文の朗読音声を聞く。 ④「枕草子」を音読する。 | ③「枕草子」の原文（春はあけぼの～）を拡大して黒板に提示。朗読音声を聞かせる。 ④初めは文節ごとに区切って範読し、児童に後を追わせる。次第に区切りを長くし | ・昔の人のもの見方や感じ方に関心を持つ |

| | | | |
|-----|---|--|--|
| | <p>⑤書かれている内容について予想し、ワークシートに記入する。 (個人→ペア)</p> <p>⑥全体で内容を確認する。</p> <p>⑦本時で学んだことを踏まえて音読する。</p> | <p>たり、交代読み（教師と児童、児童と児童）等を交えたり、音読を繰り返し行わせる。</p> <p>⑤ワークシートは、「My教科書エディタ」に収められているものを活用する。</p> <p>⑤適宜ヒント（映像資料等）や解説を加えつつ、子供たちの予想を取り上げながら書かれている内容を把握させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あけぼの」って、一日の中ではいつ頃のことだろう？ ・「たなびきたる」曇って、どんな雲だろう？ <p>⑦描かれている情景や作者の心情を想起しながら音読するよう声がけする。</p> | <p>て古文を読もうとしている（観察）</p> <p>・今の言葉と昔の言葉の違いを意識して、情景や作者の心情を思い浮かべながら古文を音読している。 (机間指導・観察・ワークシート)</p> |
| まとめ | <p>⑨「枕草子」を学習した感想を交流し、次時の予告をする。</p> | <p>⑨感想の交流を通して、昔の人の物の見方や感じ方に関心を持たせ、次時への意欲につなげられるようにする。</p> | |

5. 本時の評価規準

| | | |
|--|----------------------------------|-----------------------------------|
| <p>B 概ね満足できるとされる姿</p> | <p>A 十分に満足できる児童の姿</p> | <p>C 支援を要する児童への具体的な手立て</p> |
| <p>今の言葉と昔の言葉の違いを意識して古文を音読し、内容の大体をつかんでいる。</p> | <p>描かれている情景や作者の心情を意欲的に考えている。</p> | <p>映像資料や板書をもとにして、一緒に考える。</p> |